

ミーツ株式会社代表取締役

成田智哉
Tomoya Narita



Mobility meets Community



「移動」を「出会い」の場にご縁を紡ぐ、ミーツ

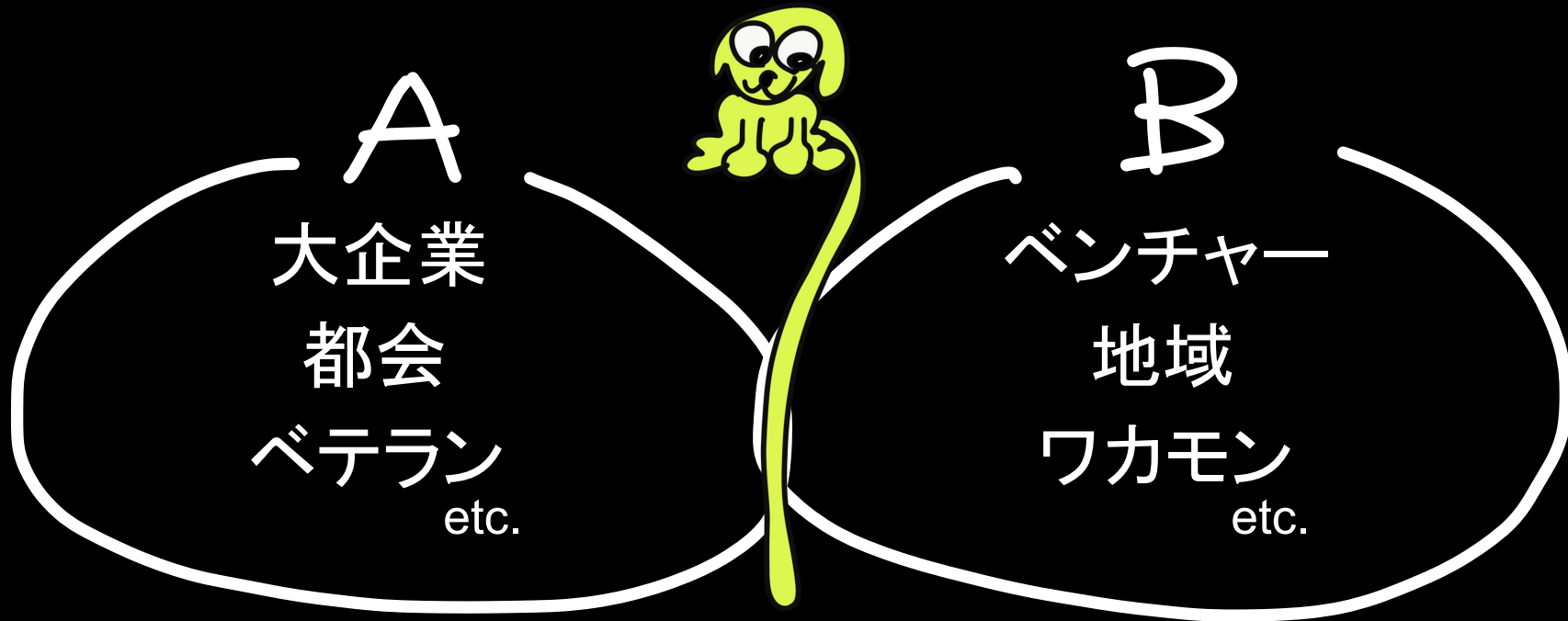
Who Am I

- ・ 1988年北海道千歳市出身。
- ・ 千歳市立泉沢小学校卒
- ・ 千歳市立向陽台中学校卒
- ・ 北海道立北広島高校卒
- ・ 東京大学文学部卒業後、トヨタ自動車人事部入社。会社役員サポートや様々なバックグラウンドな8万人の従業員をまとめる業務等を経て、6年間の勤務後ブラジルにて海外駐在を経験後独立。
- ・ 帰国後、様々な人に出会う中で、世界の広さを感じ、様々な立場をリスペクトを通じつなぐ(かき混ぜる)ことの重要性を感じ、世界をつなげる取り組みを推進する。



実現したい世界

お互いをリスペクトし、境界を超え世界をかき混ぜる



高齢化

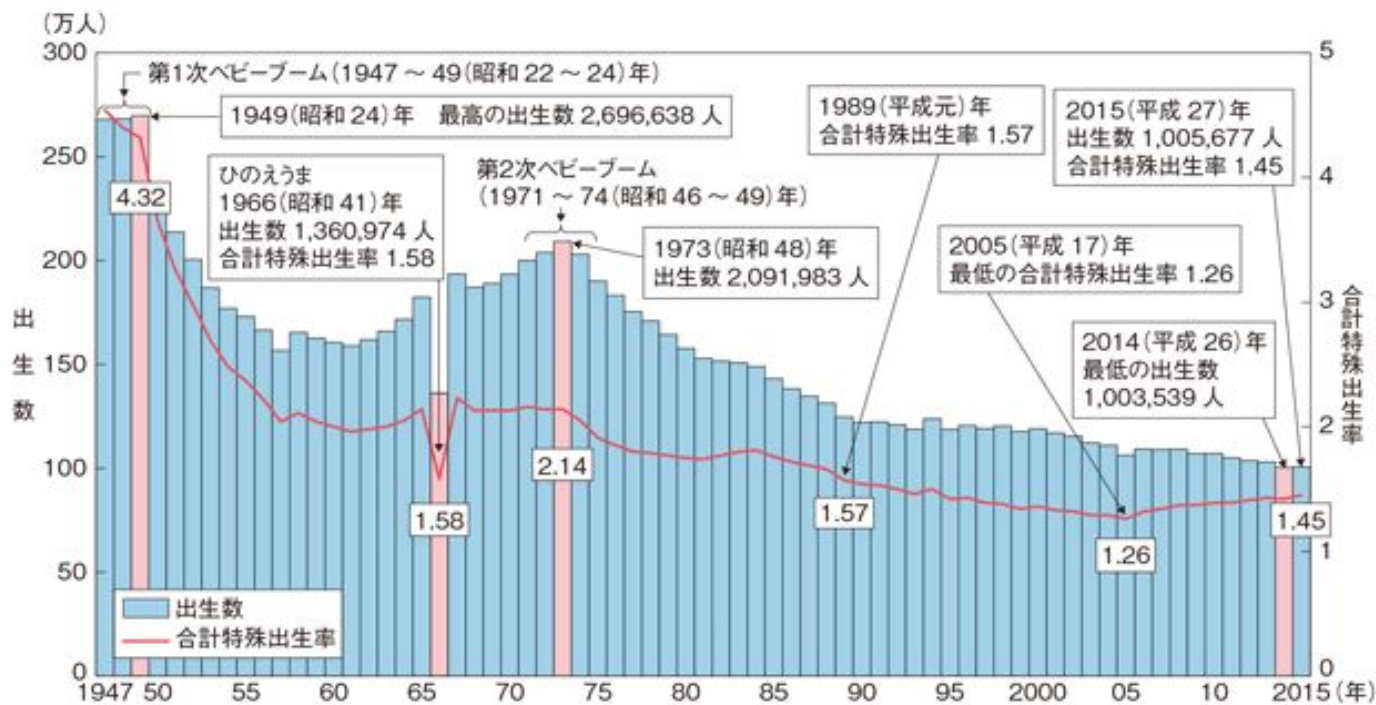
医療費の増大

少子化

過疎化

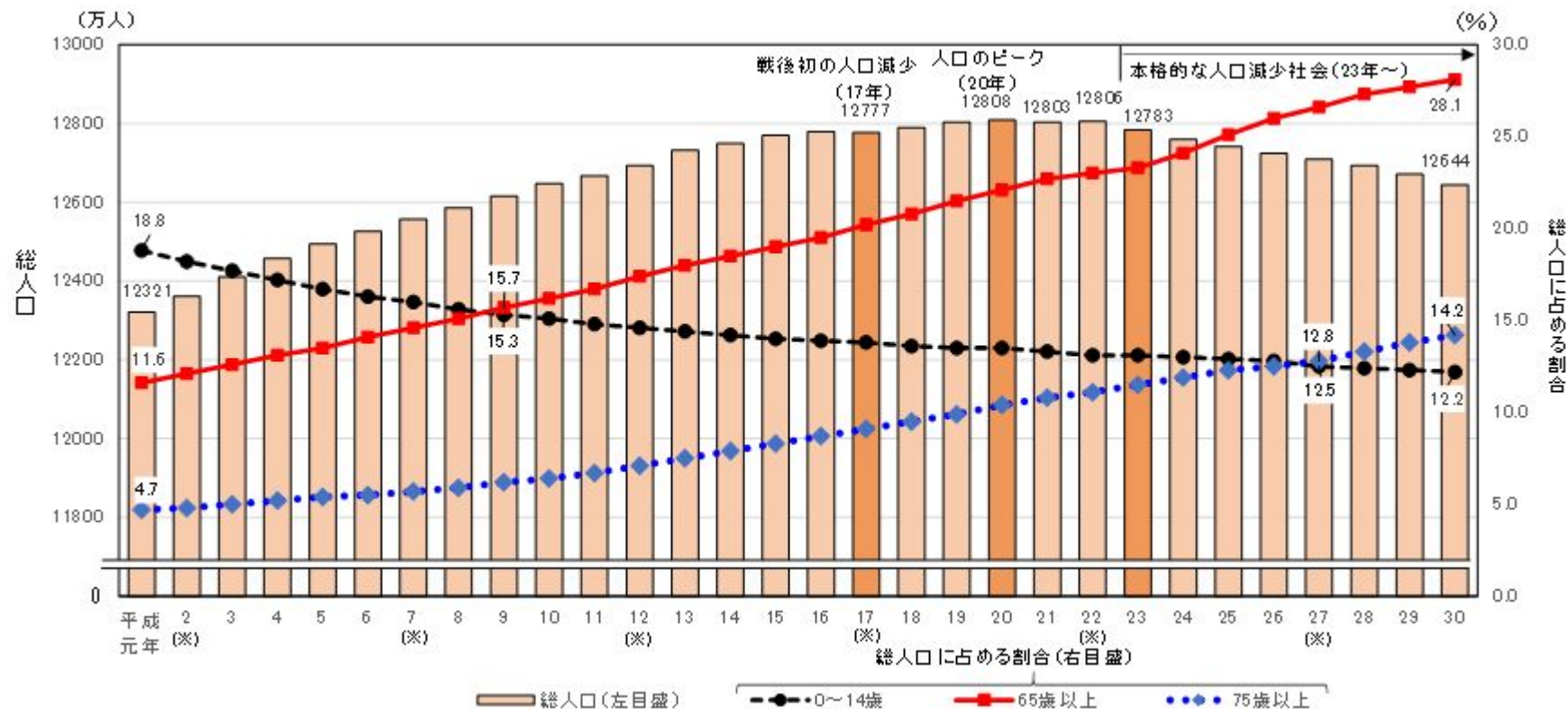
都市部への一極集中

少子化



資料：厚生労働省「人口動態統計」

高齢化

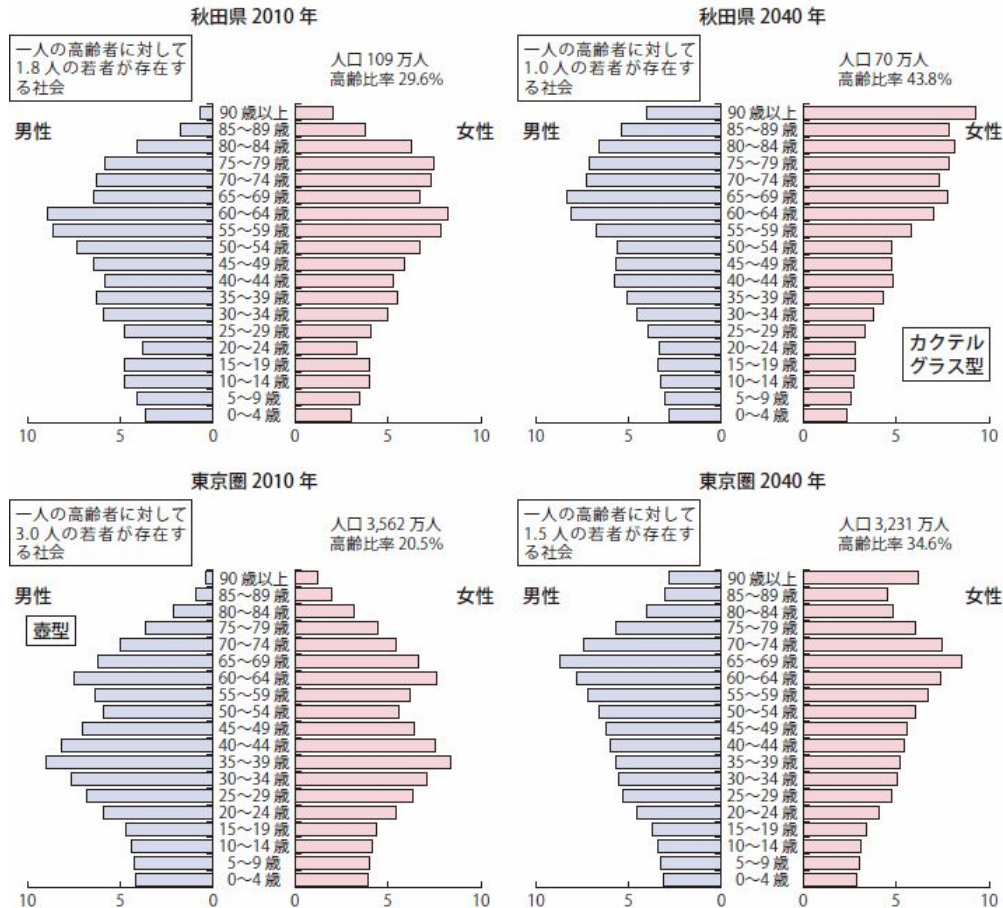


(※) 国勢調査による人口

注) 各年10月1日現在

資料: 総務省統計局「国勢調査」、「人口推計」

人口減少・高齢化が進む都道府県



資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（出生中位・死亡中位）」

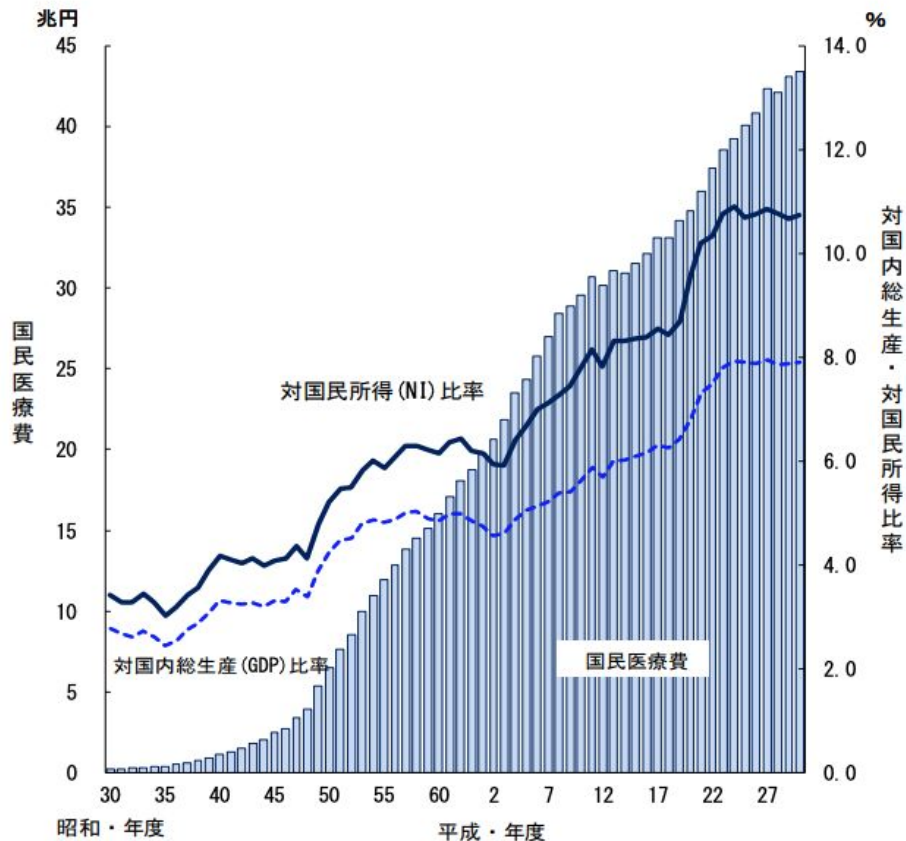
(注) 1. ここでいう「高齢者」とは、65歳以上の者をいう。また、ここでいう「若者」とは、20～64歳の者をいう。

2. 東京圏：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県。

3. 秋田県と東京圏ではスケールが異なるため、人口ピラミッドは、5歳刻みの人口構成割合（人口構成係数）にて作成している。

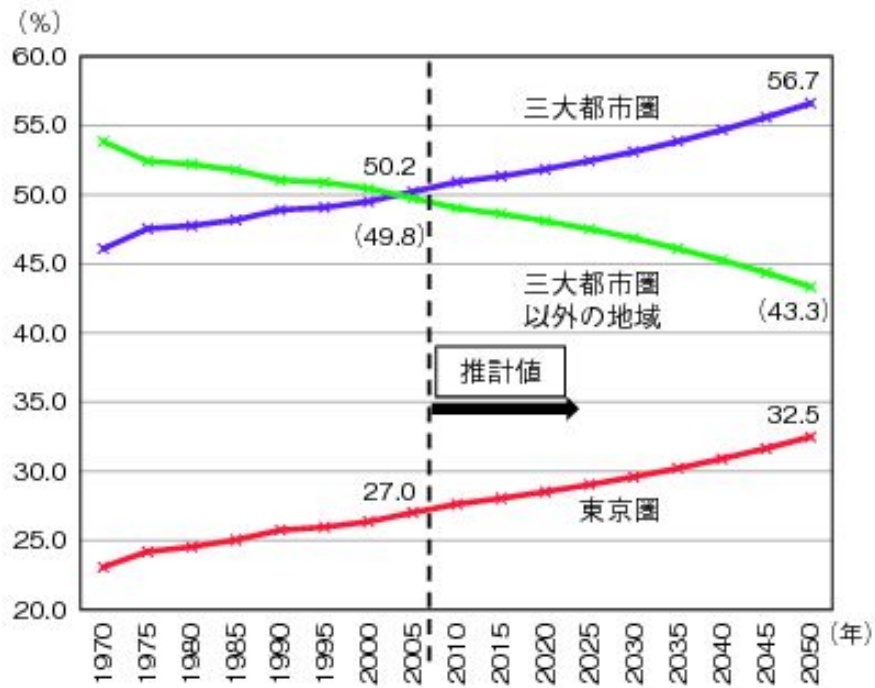
医療費増加

図1 国民医療費，対国内総生産・
対国民所得比率の年次推移

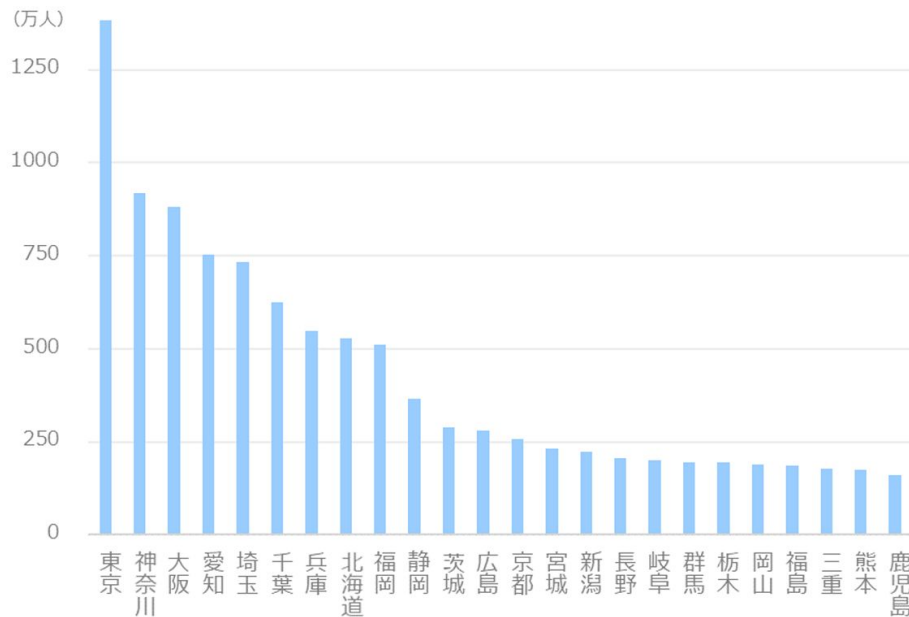


資料:厚生労働省 平成30年度 国民医療費の概況

過疎化



出典：国土交通省国土審議会政策部会長期展望委員会「国土の長期展望」中間とりまとめ



出典：日本の統計（2018年）



山手線内側面積の約6.7倍

約63km²

LOCAL×TECHNOLOGY



Mobility Meets Community
移動を出会いの場に



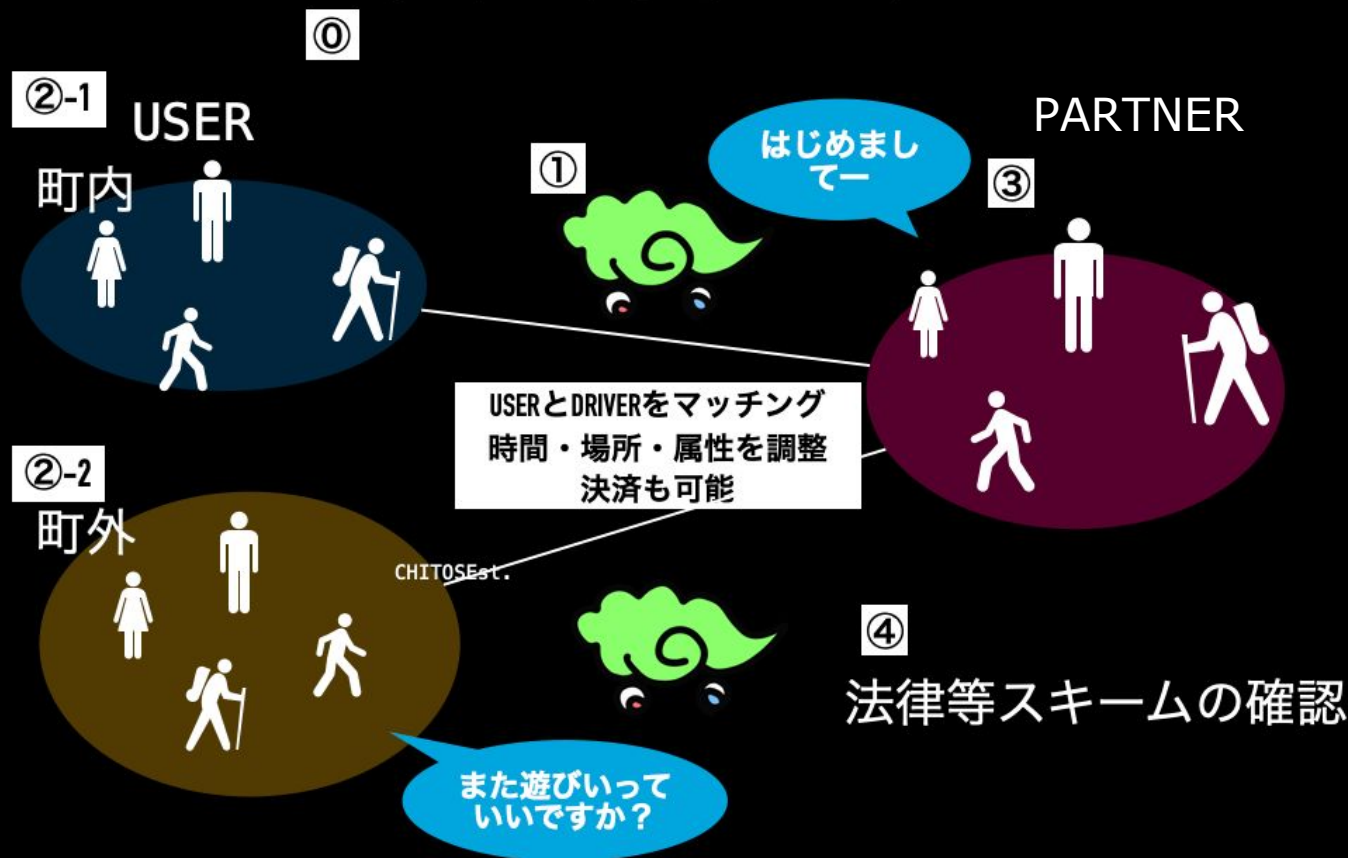
MeeTs ~Mobility meets Community~

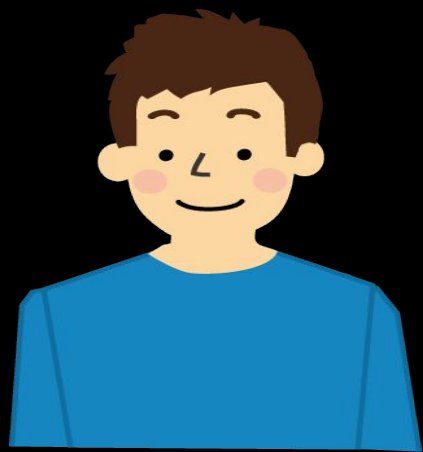
過疎地で豊かに生きていけるためのモビリティインフラの構築。ヒト・モノ・サービスを温もりあるテクノロジーによりマッチングし、「移動を出会いの場」にすることでコミュニティの創出を狙う。



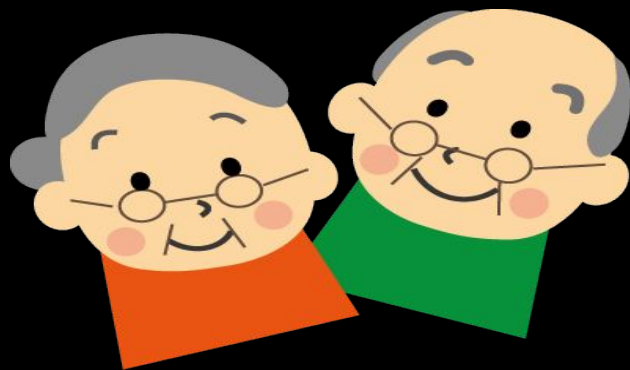
Mobility Meets Community

移動を出会いの場に





若者



ベテラン



移住者



地元の家族



観光客



地元のオヤジ





過疎地のモビリティについて

これまで

- 高齢化により免許返納問題
- 息子娘など家族が移動をサポートするにも限界
- 近所の方に頼むもお願いには限界あり
- コミュニティの希薄化
- バスタクシーも少なく行政サポートも徹底はできず、税金にも限界が

これから

- サービスを確立することで、免許のスムーズな返納をサポート
- 町全体にコミュニティを広がることで、ある種町民同士が「家族」として共助・互助が実現
- 有料サービスとして実施することでサステナブルに実現可能

Mobility Infrastructure



おひとりさま

から

おたがいさま

LOCAL×COMMUNITY



イチカラ

北海道勇払郡厚真町にて2019年より震災後のひとの交流をつくるべく、町内外の有志で立ち上げたコミュニティスペース。イベント開催やカフェ・バーを運営。常に新しい出会いが生まれる。



ミーツでできること = 住民同士の互助の仕組み

リアル版ソーシャルネットワークシステム

いいよー！！



観光客



移住者



地元の家族



ベテラン



郵便局・配達



若者



地元のオヤジ



看護師

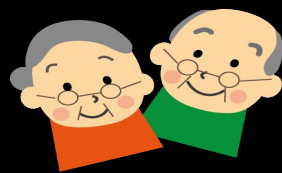


買い物代行

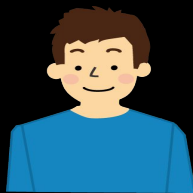
手伝ってー！！

- 移動ができて人と出会える(パートナーにいろんなひと)
- コミュニティスペースで珈琲(→他の店舗と連携)飲める
- 買い物をお願いできる
- イベントに参加できる
- 雪かきをお願いできる
- おしゃべりができる

サービス①: 行きたいところに行ける



ベテラン



若者

はじめまして～



こんにちは～

- 実費分の支払い
- 自発的支払い分のみ

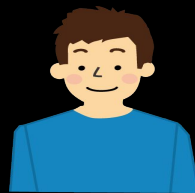


目的地

サービス②: 契約店舗を活用できる meets Place



ベテラン

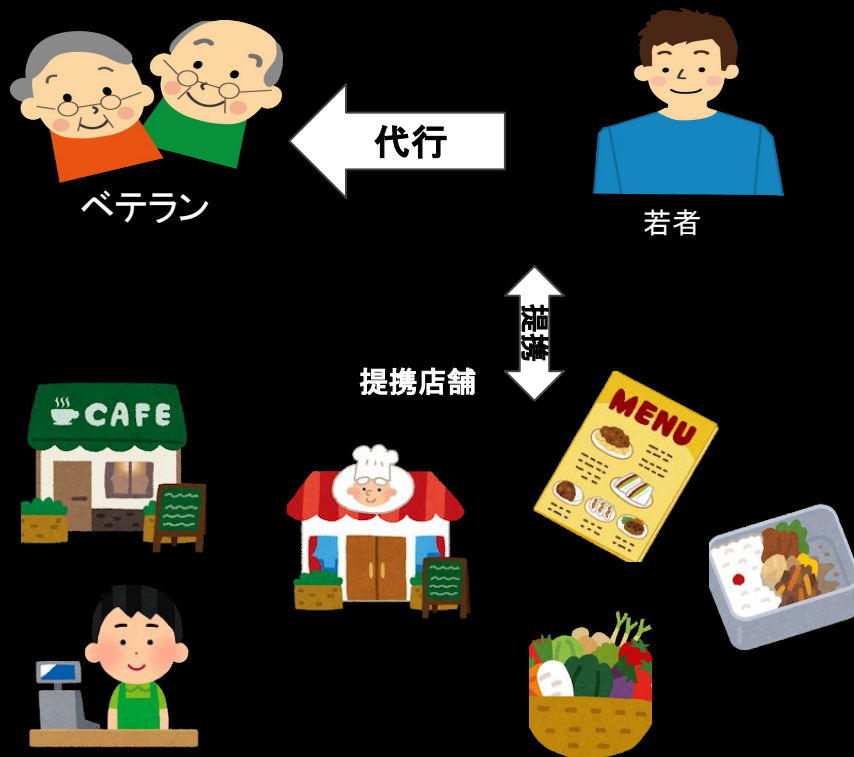


若者



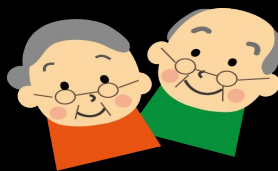
- 会員は利用可能
- 1ドリンク無料などサービス付き
- イチカラ
- 店舗との契約
- 地域にお金を落とす

サービス③: 買い物代行

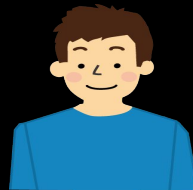


- 買い物代行
- お弁当や野菜も
- TAKE OUTで店舗も儲かる
- 代行手数料(距離応)が会費込み
- 会員出ない方はご負担

サービス④: イベントに参加できる(無料・割引価格)



ベテラン



若者



- スマホ教室する
- メンバーの人生を学ぶ
- リカレント教育
- 健康体操
- コミュニティの繋がりを強くする
- お互いをリスペクトする
- 勉強する
- オンライン・オフライン
-

地域の若者が教えてくれます!!

スマホ教室 初心者大歓迎!!

お友達やご家族ともがたんに連絡が取れ
るようになります!!



日程: 2021年7月10日から毎週土曜11時スタート!
場所: コミュニティスペースイチャラ
会費: 2000円/回 会員になると無料
備考: 送迎付き 車で自宅までお迎えに
連絡先: 070-1423-7754 (担当: 成田)

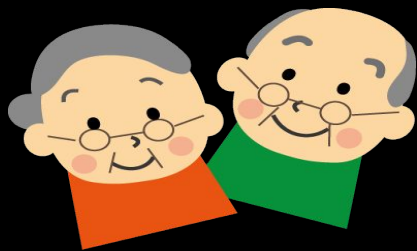


コミュニティが大きいほど、助け合える

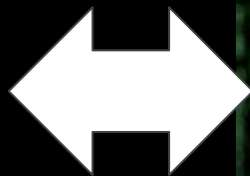
厚真家



超ローカル情報



ベテラン



GAFAs

- 今日どこに行くのか
- 今までの人生の蓄積
- 最近何に困っているのか
- 自分の資産の使い道について

「タンス預金」増え、個人保有の現金初の100兆円突破...前年比5・2%増

2021/03/17 13:37

新型コロナ

日本銀行が17日発表した2020年10～12月の資金循環統計（速報）によると、昨年12月末時点で個人（家計部門）が保有する現金が、初めて100兆円を突破した。前年同期と比べ、5・2%増の101兆円と過去最高となった。高齢者を中心に、自宅で現金を保管する「タンス預金」を増やす傾向が強まっている。

家計部門の「現金・預金」は4・8%増の1056兆円となった。預金は4・8%増の955兆円だった。



日本銀行の大規模な金融緩和政策で、ほぼ金利が付かない状況が続いているが、預金残高も増えている。政府は昨年、1人あたり一律10万円の定額給付金を支給したが、その一部が貯蓄に回った可能性がある。

株式なども含めた家計部門の金融資産残高は、2・9%増の1948兆円と、過去最高を更新した。

地域の未来に必要なのは

高度なテクノロジー

だけでなく

温もりあるコミュニティ



ひとりひとりの人生は
ドラマチック

ひとりひとりが

ヒーロー・ヒロイン

ひととひとの交流によって

健康

刺激

チャレンジ

元気

生活の彩り

新たな出会い

嬉しさ

笑顔

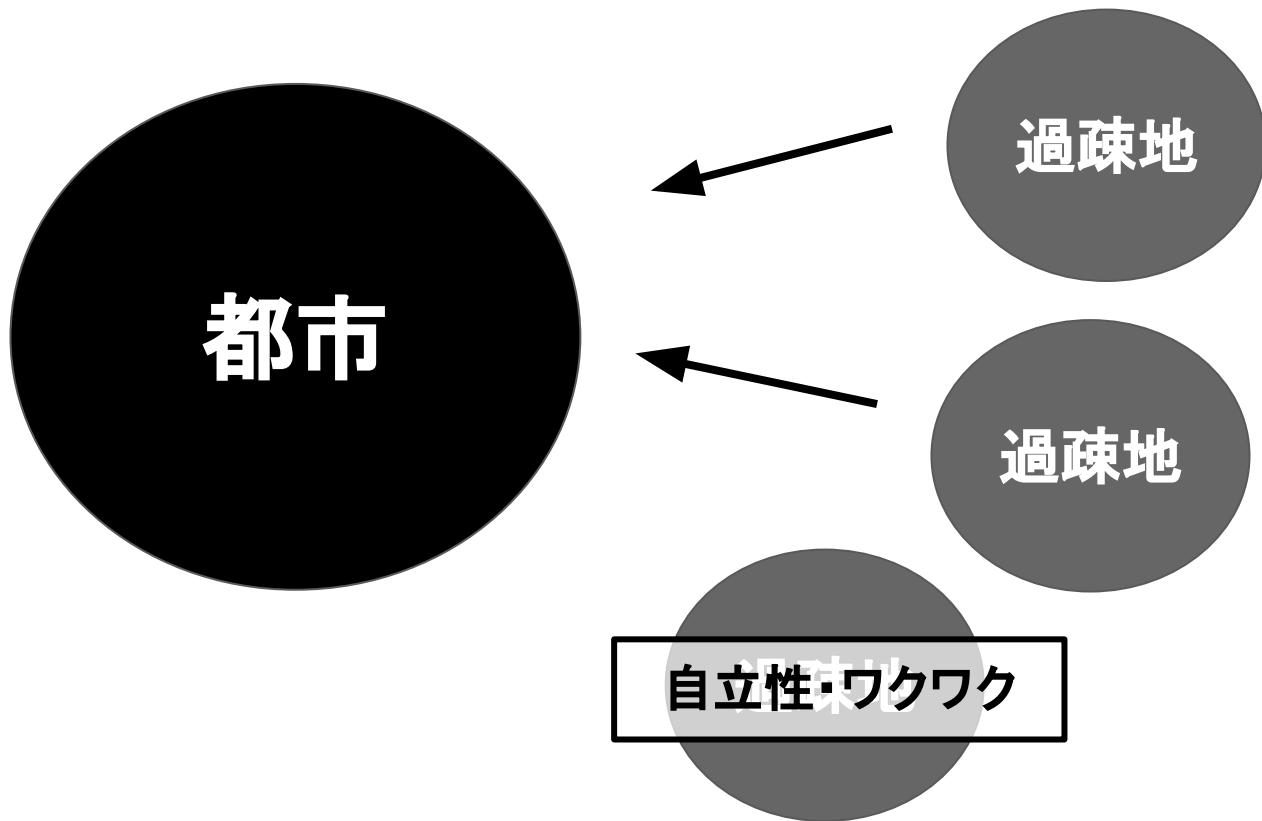
会話

リスペクトの創出

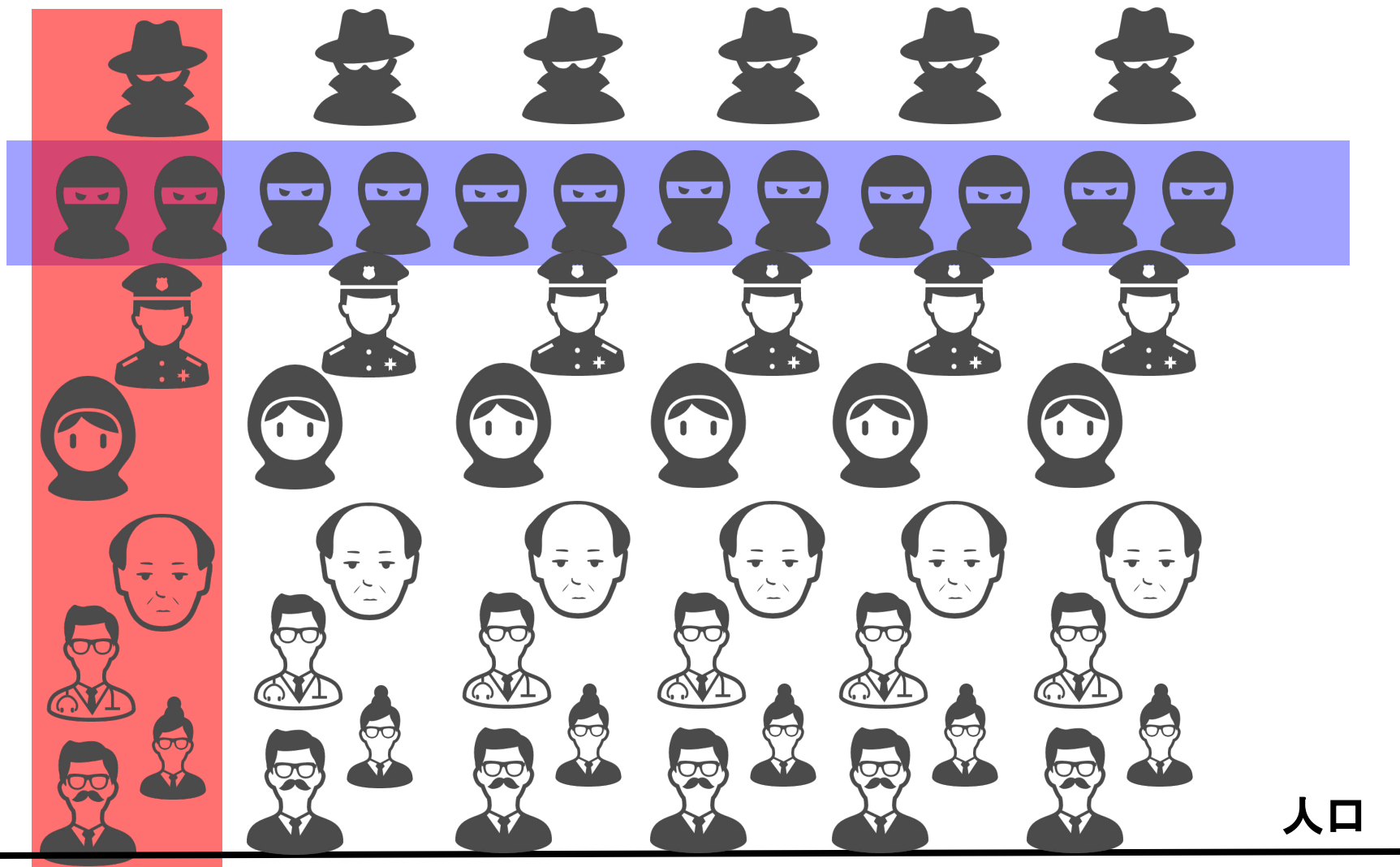
1741



過疎地の未来は、どうすべきか



人種



人口

Mobility meets Community



「移動」が「出会い」の場に
「移動の出会い」が「人生の彩り」に



会社案内

- ミーツ株式会社 / Meets Inc.
- 本社: 北海道勇払郡厚真町京町一番地
- Mail: narita@meets-atsuma.com
- 設立年月日: 2021年7月1日
- 資本金: 1,000,000円
- 代表取締役: 成田 智哉
- 従業員数: 1名
- 事業内容:
生活支援一式サービス・モビリティサービスの
企画・開発・運営

